

一步前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

苦言から吸収する力



ある社員のお話です

係長Aさんはある商品を説明するため、C社のB社長を訪ねました。約束の時間よりも15分早く到着しました。しかし、B社長は会議で不在でAさんは社長室のソファーに座って、社長が来るのを待っていました。

すると、少々年配の上品そうな女性が花を抱えて部屋に入ってきた。B社長の奥様でした。私は、9月で熱い日でもあったことからネクタイを緩めて、襟元をパタパタさせていました。

奥様は花瓶を花に活けていましたが、Aさんの方を見て声を掛けました。「他人(A)の家へ来て主を待っているときは、椅子やソファーに座らないものですよ。そのために壁に絵画が飾ってあったり、花も活けてあったりして鑑賞できるようにしてあるんです。覚えておいてくださいね。」そう言って奥様は部屋を出でていかれました。

Aさんは恥ずかしさで顔が真っ赤になりました。その後B社長が入室てきて商品の説明をしましたが、全く上手くできませんでした。自分の情けなさと細かいことを話された奥様への怒りで頭がいっぱいでした。

それから10年後、課長になったAさんは、部下と共にD社に製品説明に行きました。社長室で5分ほど待っていると、社長さんが入ってきて「やあ、君がA課長さんかね。別の会社の人からA課長は相手が来るまで何時間も立って待っている男だって聞いているよ。今日はじっくり話を聞かせてもらうよ。」と言われました。

そうです。Aさんは10年前のあの奥様の苦言を実践していたのです。苦言を怒りに任せて切り捨てるのではなく、自分の成長に繋げたのです。このことがA課長の人柄の一つとなって好影響をもたらしたのです。

皆さん、先生方や家族の人に注意や忠告をされたことたくさんあると思います。言われた直後恥ずかしくなったり、ムッとしたりするときもありますが、冷静になってみてください。その注意や忠告を言った人は間違っているのでしょうか？あなたに意地悪や嫌がらせをしているのでしょうか？違いますよね。見なさもこのAさんのように「言われたことが正しいな」と思ったら、実践して自分の成長に繋げていってください。